

Q. 小学校特別クラブの指導者対策は

電害を受けた農業者64戸、面積約360畝、対象俵数約2万6千俵の色彩選別手数料60kg当たり420円の半額210円を助成し、被害農家の負担軽減を図ることを決定した。この補助をJAピンネが実施するに当たり、今年の冷湿害に対する補助を町にも支援してほしい旨の話があり、町としては所得補償的な補助を行うことは困難であることから、自然災害である電害に対して、JAピンネの負担分に乗せする形で420円の1/4に当たる105円を補助することとした。

**再質問** 百年に1度と言われる経済不況が続いている現在、農家においても今年は百年に1度あるかどうかの異常天候のような気がする。共済にもかかわらず減収が確定した今、次年度に向けての計画もままならないのが現状である。この現状を踏まえ補助金の増額は考えないか。また、今後災害が起きたときの対応は。

**町長** 商工すべてが疲弊している中、農業にばかりということにはならない。また、自

然災害等により農家が被害を蒙った場合は、経済団体とも相談し、その都度支援策を検討していく。

小学校特別クラブの指導者対策は

**質問** 小学校統合により創設された特別クラブのスクールバンドと合唱団については、先生の対応によりこなして行けると考えるが、文化伝承も兼ねた獅子神楽について、現在、保存会の役員さん達が主となり、指導していると聞いている。それぞれ高齢化している中、未だ現役の農業者であり、そろそろ負担を軽くしてあげてはと考えるが、指導者の対策について、どのように考えているのか。

**教育長** 統合小学校では、3つの特別クラブを立ち上げ、各学校で築き上げてきた子ども達の活動を継承し、更に発展させていこうと計画した。幸いにも、子ども達の積極的な参加を得て、新十津川小学校独自の新たな伝統がスター

トしたと考えている。その中の獅子神楽については21名の児童が加入していて、今までに特別クラブとして15回の練習を重ね、ふるさとまつりや新十津川神社祭、学芸会など、発表の機会があったので、いきいきと力いっぱい取り組む

ら指導してきた教員を中心に、踊りやお囃子の練習を部門ごとに5名の先生で教えている。初めて獅子神楽に接する先生もいるので、獅子神楽保存会の役員が学校に向いて、先生方への指導も含め、細やかなバックアップをして



△ふるさとまつりで獅子神楽を披露する児童

くれている。おかげさまで、今年から始めた児童も経験ある子ども達と一緒に自信を持って披露し、十分に伝統芸能を傳承して行けるものと思っている。

小学校の教員には転勤があるので、いつまでも同じ先生が指導するということにはならないが、保存会の力強い協力も得て、今後とも指導体制を整えていけるものと考えている。

子ども達の姿を目にした人も多いと思う。そこで指導者対策ですが、昨年まで旧大和小学校で取り組んできたことから、当時から